

Q-1 昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1 昨年9月に実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

区分		採用 予定者数	受験者数	一次試験 (筆記)合格者数	一次試験 (筆記)倍率	最終面接 受験者	最終面接 合格者	採用者数	合格倍率
一般事務職	上級	12名	39	33	1.2	16	8	8	4.8
	中級		6	6		0	0	0	
	初級		13	9		8	4	1	
一般事務職 (障がい者)	上級	1名	1	1	1.0	1	0	0	-
	中級		0	0		0	0	0	
	初級		0	0		0	0	0	
一般事務職 (民間企業等経験者)		1名	11	6	1.8	4	0	0	-
一般技術職 (建築・土木)	上級	1名	2	2	1.0	2	1	1	2.0
	中級		0	0		0	0	0	
	初級		0	0		0	0	0	
建築基準適合判定資格者		2名	0	0	-	0	0	0	-
一級建築士			0	0	-	0	0	0	-
土木施工管理技士			1	1	1.0	1	1	1	1.0
一般技術職(民間企業等経験者)			0	0	-	0	0	0	-
社会福祉士	上級	1名	1	1	1.0	0	0	0	-
	中級		0	0		0	0	0	
	初級		0	0		0	0	0	
精神保健福祉士	上級	1名	0	0	-	0	0	0	-
	中級		0	0	-	0	0	0	
	初級		0	0	-	0	0	0	
計		18名	74	59	1.3	32	14	11	5.3

Q-2 職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2 令和5年4月1日現在の職員数は、698人です。このうち、女性職員は330人(47.3%)、男性職員は368人(52.7%)です。30歳未満の職員で見ると、女性が51.0%、男性が49.0%とほぼ同数となっています。

Q-3 新規採用時の配属先は、どのように決まりますか。

A-3 一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、基本的には市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配置します。専門職は、保有する資格等により関連の部署へ配置します。

Q-4 採用後の配属部署の異動の周期や方法はどのように決まりますか。

A-4 人事異動は、概ね4～5年を基本とし、性質の異なる職場を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施します。なお、毎年12月に全職員に自己申告書を提出してもらい、異動等の希望を聴取し人事配置等の参考にしています。